

## B-25

出展団体名	協和メデックス株式会社	
発表者所属	KMアッセイセンター	
発表者氏名	草田 修	
発表タイトル	KMアッセイセンターの受託分析事業	
ねらい	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し <input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し <input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し <input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンサー）探し <input type="checkbox"/> その他（受託分析事業の宣伝）具体的に	
キーワード	①受託分析	②食品分析
	③生体試料分析	④マイコトキシン
要 旨（アピールポイント）		
<p>私ども協和メデックス株式会社 KMアッセイセンターは、2001年から受託分析事業を行っています。現在の当センターは、食品分析と生体試料分析の2部門を柱としております。食品分析の中でも特に、マイコトキシン分析に力を入れています。マイコトキシンはかびが産生する有害物質です。我々は、トリコテセン系マイコトキシン3種（デオキシニバレノール、ニバレノール、T-2トキシンとHT-2トキシンの合計値）とゼアラレノン、アフラトキシンB1、パツリンの分析を行っています。生体試料分析としては、MPT（腎機能マーカー）、酸化LDL（動脈硬化の危険因子）、サブスタンスP（アレルギー疾患のマーカー）、ニトロチロシン（炎症と一酸化窒素産生のマーカー）の分析を行っています。</p>		